

一度、立ち止まって



商学部長

河合 久

Hisashi Kawai

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。新たな世界に進むスタートラインに堂々と立つ皆さんの姿を拝見し、教員の一人として感慨を覚えます。

4年前、皆さんはそれぞれに目的をもって商学部に入學したはずですが、大学への進學目的を将来の職業選択の手段と考えた人と、社会人になるまでの漠然とした準備期間と位置つけた人とに大別できるでしょう。貴方はどちらでしたか。いずれにしても、皆さんは中央大学商学部というステージで人生の貴重な時間を過ごしたことに間違いありません。

この4年間になぜ貴重なのでしょうか。ゼミでの専攻分野に特化して学問に励んできた場合でも、難関国家試験の準備に専心してきた場合でも、あるいはスポーツ・文化活動に注力してきた場合でも、皆さんは中大生であるがゆえに高いレベルの努力を求められました。その過程では、皆さんの多くが当初の目的を簡単には果せない苦悩を味わったことでしょう。しかし、いかなる状況にも共通する事実は日々の営みが貴方自身の選択によるものであって、しかもそれについて考えることができる時間を多く持てたということです。そして、近くには利害とはおよそ無縁の友人がいたことです。その事実こそが大学生の特権であり、皆さんの貴重な財産であり、社会人として持つべき自立心と責任感の確立に繋がるのです。自信を持ってください。

東日本大震災の復興は遅れ、世界経済の状況も不安定です。このことは、私たちに「一度、立ち止まって考え直そう」という問いかけでもあると思います。いかなる職業も日本経済の再生に向けて直接または間接に貢献していかなければなりません。そのためには、二度と訪れることのないこの4年間に区切りを打つ今日、多忙が予想される新生活に奔走する前に、貴方が中央大学で得た具体的な財産とは何か、それらを今後の職業や人生にどのように活かすことができるのか、少しだけ再考してみてください。

最後に、これからの皆さんの人生が大切な家族と共に幸せに満ちたものであることを心よりお祈りいたします。

チャレンジャーであり続けよう



理工学部長

石井 洋一

Yoichi Ishii

ご卒業おめでとうございます。学生生活を終え、新しい世界へ飛び出そうとしている皆さんに心からのお祝いを申し上げます。

皆さんが理工学部での学業を進める間に、わが国の社会にはさまざまな変化がありました。経済的な混乱や社会の不確かさを前にして、将来への漠然とした不安を感じている人もあるでしょう。しかし、社会や経済の変化はこれまでも繰り返されてきたことであり、また将来もたびたび起こるはずのことです。皆さんはそれを自分の手で乗り越えていかなければなりません。チャレンジャーにとって最も大事なことは、新しい環境や新しい仕事に対して、常に学ぶ姿勢を忘れないことです。

皆さんが大学へ入学したときのことをちょっと思い出してみてください。高校とは違う環境で、新しい学問を始めることに戸惑ったのではないのでしょうか。その変化を乗り越えてステップアップし、皆さんは卒業を迎えたのです。それと同じで、社会に出るこの春も、またこれからの長い社会人生活の節目節目でも、新しい環境で新しい仕事をするという経験を皆さんは何回となくすることになるでしょう。それまでと異なった環境が与えられれば、そこで新しいことを進んで学び、努力して自分の能力を高めていくことは、これからもずっと求められるし、それが一人ひとりのステップアップにつながる道なのです。ですから、大学を卒業することは、学びを終えることではありません。これまではカリキュラムに従った学習でしたが、これからはそのような決まりごととはなくなります。自由な学びということもできますが、何をどのように学ぶのかもすべて自分で決めなければなりません。

そうはいっても、別に恐れる必要はありません。皆さんには、理工学部で培った「学ぶ力」があるではありませんか。理工学部で学ぶ間、皆さんは理工学の研究の仕方、問題の解決の仕方というものを経験したのです。その取り組み方や考え方は、社会で出会うであろうさまざまな問題に対しても通用するものです。理工学部ですごした時間を、大変だったけれど充実していた、そんなふうに思えるなら、きっと皆さんはこれからの荒波を乗り越えていけるだけの力を身につけているはずですが、自信を持って未来の課題にチャレンジし続けてください。精一杯の活躍を祈ります。